

埼玉県議会議員 高木功介

9月定例県議会報告

令和5年9月定例会は、9月22日（金曜日）～10月13日（金曜日）の日程で行われました。

お詫びと改革のお約束

9月定例県議会で自民党県議団より議会に提出されました「児童虐待禁止条例改正案」は国民・県民の皆様にご多大なるご心配とご批判のお言葉を頂き自民党県議団は撤回いたしました。私は条例改正案の内容を精査しきれず提出を阻止することが出来ませんでした。深く反省し慙愧の念で一杯です。心よりお詫び申し上げます。

子供は社会の宝です。私はこれまで、子育て支援・学童保育の充実、子供が安心して遊べる公園整備、登下校が安心してできるようにスクールゾーンの設置・スクランブル交差点の設置などの施策を皆様と共に実現して参りました。これからも、皆様と共に実態に即した子育て支援の充実を図って参ります。

私は「法律は市民の行動をできる限り制限してはならない」という強い信念を持っております。それを踏まえて、私は次のような改革提案を行い、条例制定に一層の慎重さを求めています。

- ①パブリックコメントの可視化
- ②市民・外部有識者からの助言
- ③法律の専門家によるチェック体制
- ④議会事務局の調査能力の強化(内閣法制局のような機能を目指す)

今後多くの方々に寄り添い、誠実に政治に携わり信頼回復に努めて参ります。そのためにも、皆様の引き続きのご支援を戴きますようお願い申し上げます。

埼玉県議会議員 高木 功介

「ゼロゼロ融資」の行方について（産業労働企業委員会の審査から）

質問

無利子・無担保融資(ゼロゼロ融資)により、多くの企業倒産を防ぐことが出来たが、今後収益力の弱い企業が倒産することで、地域経済に打撃を与えることに対応していくのか。また、倒産することを防ぐためにも、商工会議所・商工会に配置している各種指導員の活躍が重要である。相談件数が増加しているが、対応はしているのか。

県回答

新型コロナウイルス感染症の影響が長引き、計画通りに返済することが難しい企業に対して、県は金融機関による伴走型支援を受けて経営改善を図りながら借り換えや追加融資に利用できる「伴走支援型経営改善資金」(右図参照)を創設した。また、相談体制の充実については、指導員の質の向上のため中小企業診断士の資格取得推進のほか、職員研修を充実させ多様な相談に対応できる体制を確保している。

伴走支援型経営改善資金

この資金の特徴

- ☑ 国の全国統一制度である「伴走支援型特別保証制度」に対応した資金です。
- ☑ 金融機関による根拠的な伴走支援を受けることを条件に、借入時の信用保証料が大幅に引き下げられています。

次のような方が対象です

- 新型コロナウイルス感染症やエネルギー・原材料価格高騰等による影響で売上高等が5%以上減少している。

融資条件

	SN保証4号	SN保証5号	一般保証
限度額	1億円		
利率	5年超10年以内	年1.0%以内	年1.0%以内
	3年超5年以内	年0.9%以内	年0.9%以内
	3年以内	年0.8%以内	年0.8%以内
<small>令和5年10月1日現在の利率です。(固定金利)</small>			
期間・償還方法	10年以内(1年以内のご利用も可能です)		
担保	借入5年以内 元金均等月賦償還 (ただし、融資期間1年以内の場合は一括償還を選択可能)		
保証人	取扱金融機関及び信用保証協会との協議により定める 個人:原則として不要 法人:原則として代表者以外の連帯保証人は不要 代表者は一定要件(①法人・個人分離、②資産超過)を満たせば不要		
信用保証料	年0.2%(一般保証とは別種の保証)	年0.2N-1.15N	

高木功介県政調査事務所

victory@takagikosuke.jp

〒330-0061 さいたま市浦和区常盤2-9-19 TEL 048-762-7761



Twitter



Facebook



テレビ埼玉にて産業労働企業委員長としてのビジョンを述べました 私が目指す3つの県経済政策

野口アナ 委員長として力を入れたい分野は何でしょうか。
高木委員長 3つあります。まずひとつは「円滑な価格転嫁に向けた環境整備」です。エネルギー価格や原材料費等の高騰が長期化しています。このような状況において、中小企業の賃上げを実現するためには、適切な価格転嫁を行える環境整備が重要となります。埼玉県では、産官金労の12者で全国初となる協定を締結し、価格転嫁特別相談窓口の設置や取引先との価格交渉に向けた専門家による支援を実施しています。適正な価格転嫁が進み、働いている方の賃金アップにつながるよう中小企業の支援を推進してまいります。



収録の様子（放送は9月27日）
テレ玉の野口美和アナウンサー(浦和一女卒)と

野口アナ 2つ目は何でしょうか。

高木委員長 中小企業や小規模事業者に対する資金調達の円滑化支援です。新型コロナウイルス感染症の影響に伴う資金需要に対応するため、当初3年間無利子・保証料ゼロのいわゆる「ゼロゼロ融資」が実施され現在、返済時期を迎えています。しかし、コロナ禍以降も、ロシアによるウクライナ侵略・物価高など、中小企業を取り巻く環境は厳しく、引き続き支援が必要です。金融機関による伴奏支援を受け経営改善を図りつつ、借り換えや追加融資を利用できる伴走支援型経営改善資金について、県は融資枠を200億円から1000億円へ拡大しています。今後も資金調達が円滑になされるよう注視・指導していきます。

野口アナ 3つ目は何でしょうか。

高木委員長 中小企業のDX(デジタルフォーメーション)の推進です。埼玉県では国や市町村、経済団体、金融機関等が連携し、「埼玉県DX推進支援ネットワーク」を立ち上げ、中小企業のデジタル化やDXの推進を支援しています。DXに関して「2025年の崖」という言葉があります。経済産業省が2018年9月に発表したDXレポートによる警鐘のことです。経済産業省のレポートによれば、企業のDXが実現しなければ、2025年以降、年間最大12兆円の経済損失が生じる可能性もあり、DXの推進が急務です。

針ヶ谷歩道橋を撤去し信号機を設置します

旧中山道に架かる「針ヶ谷歩道橋」は子供たちの通学路にあり歩道橋の柱が歩道を狭めるなど危険なので、信号機に変えて欲しいとの要望を3年前の2020年に受けました。埼玉県警察を所管する県議会議員として、歩道橋撤去後の信号機設置を強く求め実現。それに合わせて、歩道橋を玉井哲夫市議(当時)をはじめ市議会議員の尽力で撤去することが出来ました。この実現には針ヶ谷自治会の方々の熱意がとても大きな力であったことは言うまでもありません。



12月定例県議会で本会議に登壇する予定です。ご期待下さい!



誠実で開かれた政治を 埼玉県議会議員 高木功介プロフィール

昭和51年、埼玉県出身。私立本郷高等学校卒業。筑波大学国際総合学類卒業。筑波大学大学院博士課程人文社会科学研究科修了。博士(国際政治経済学)取得。慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程修了 MBA 修士(経営学)取得。東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻修士課程在籍中。筑波大学研究員を経て外務省入省。国際法局、総合外交政策局に勤務。自民党埼玉県連の一般公募に合格。埼玉県議会議員2期目。埼玉県議会産業労働企業委員長。
編著書『日本外交の150年 - 幕末・維新から平成まで』(出版 日本外交協会)
趣味 テニス、サッカー(浦和レッズ)観戦、クラシック音楽鑑賞
座右の銘 「行くに徑に由らず」(論語「雍也」 抛り)
家族 妻(医師、浦和と都内の病院に勤務中)、母
身長 175センチ 体重 69キロ

Facebook Twitterで県政報告中